

## 令和4年度 事業計画書（駒方寮）

### 1. 事業運営基本計画（事業目標）

- （1）子どもたちの安心・安全な生活保障と最善の利益追求
- （2）職員の資質向上と誰もが働きやすい職場環境の整備
- （3）地域共生に向けた連携強化と地域貢献の推進
- （4）名古屋市社会的養育推進計画に基づいた施設整備と体制強化

### 2. 具体的計画

- （1）子どもたちの安心・安全な生活保障と最善の利益追求
  - ①子どもの権利擁護（子どもアドボカシー）に向け、権利擁護委員（学識経験者2名）と子どもとの定期的な面談や委員会開催（年3回程度）等で、権利侵害防止と主体的な生活支援を行います。  
〔子どもの権利擁護委員会・性教育委員会・子ども集会 等〕
  - ②日常の中で五感（視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚）に働きかける様々な生活体験を積み重ねる機会を得ることで、最善と思われる働きかけを継続し自立後の生活支援に繋がります。  
〔名養協担当・FSW・個別対応・心理療法担当・自立支援担当・美化担当 等〕
  - ③より勤務実態に即した避難訓練と備品の取扱いで、大人と子どもの防災意識を高め安全を確保します。継続して防災用品や連絡体制の見直し等、BCP（事業継続計画）実施体制を整備します。  
〔災害対策委員（法人）・危機管理委員会・防災委員会 等〕
- （2）職員の資質向上と働きやすい職場環境の整備
  - ①子どもたちの養育を実践する上で専門性向上は必須課題の為、施設の高機能化・多機能化と個々の能力・経験に応じて研修へ参加し、また他分野・他施設等との相互交換研修を企画する。  
〔三法人連携室員（法人）・リーダー会議・福祉セミナー実行委員 等〕
  - ②労働安全衛生に基づき、働き続けやすい環境づくり（業務省力化・勤務の見直し・職員SV等）に努めるとともに、メリハリある働き方で個人有給休暇消化率30%を目指します。  
〔労働安全衛生委員（法人）・両立支援委員会 等〕
  - ③“メンタルケア”や“ボディメンテナンス”等、心と身体のリフレッシュが図れるような取り組みを通し、お互いを尊重し合える職員集団の構築を図ります。  
〔リーダー会議・各部会議 等〕
- （3）地域との共生に向けた連携強化と地域貢献の推進
  - ①地域の町内会・子ども会への職員派遣はもとより、子育て支援機能の連携・強化に向けたニーズ（備品の貸出し・施設の開放・講演会開催 等）に応えられるよう、先行事業所から学びが得られる体制整備と派遣に努めます。  
〔子ども会 町内会担当・社会貢献活動担当 等〕
  - ②地区委員会を通じた地域内パトロールの定期的な実施や、地域行事への参加及び分団登校時の付添等を通じて、地域の子どもたちの「見守り」事業を推進していきます。  
〔危機管理委員会・地区委員会 等〕
  - ③定員枠まで付帯事業（一時保護、ショートステイ及びレスパイト事業）を活用し、「ハチドリチャレンジ」（1職員1ボランティア活動）の遂行を通じて「SDGsの理念（持続可能な開発目標）」に寄与します。  
〔社会貢献事業室員（法人）・各部会議・広報担当 等〕
- （4）名古屋市社会的養育推進計画に基づいた施設整備と体制強化
  - ①地域小規模児童養護施設の開設に向け、準備段階から携われる職員配置により役職者等福祉人材の育成・養成を企図し、小規模化・地域分散化の加算要件を満たすことで収支の安定を図る。  
〔運営会議・リーダー会議・第2ドミトリー開設準備担当 等〕
  - ②施設の高機能化及び多機能化に向け、社会資源（要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関・団体 等）との連携を模索するとともに、子育て世帯に対する市町村事業の活用により地域からの信頼獲得に努める。  
〔運営会議・リーダー会議・社会貢献活動担当 等〕